

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は2.75台付近で取引が始まったものの、FOMCを控えていることもあり引けにかけては調整が進行。急速に進んだレアル売りの動きも一服し、2.71台半ばで取引を終えた。前日に緊急利上げが行われたロシアルーブルであったが、その後も不安定な相場が続いたため、政府はドル売り介入を実施。また、中銀が実施した安定化措置(銀行や企業に対して、ルーブル安と債券相場急落により目減りした資産の評価方法の変更を容認)の影響もあり、投機的なルーブル売りの動きにも一定の歯止めがかかった。原油価格の急落を背景としたリスクセンチメントの悪化が一時的に後退したこと、ボベスパ株式指数も急反発(前日比3.6%高)。第3四半期決算の公表遅延により急落していたペトロプラス株も前日比3%高となった。

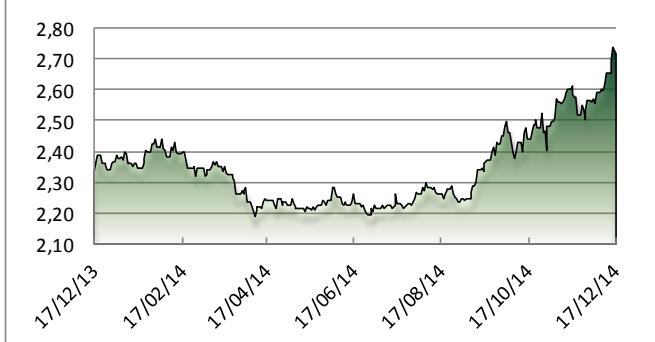
注目されたFOMCは、「QE終了後も相当期間(for a considerable time)ゼロ金利を維持することが適切」との文言自体は残る一方、「金融政策の正常化開始については辛抱強い(can be patient)姿勢で臨む」との文言が加えられた。この新しい文言について声明文では同時に「QE終了後も相当期間ゼロ金利を維持することが適切という前回の声明と合致する」とも述べており、文言修正が市場の利上げ期待を過度に高めないよう牽制している。具体的な利上げ時期についてイエレン議長は記者会見において、「少なくとも今後数回のFOMCにおいて正常化する公算は小さい」と発言。市場は2015年1月及び3月に予定されているFOMCでは利上げは見送られる可能性が高いと見ている。FRBは利上げのタイミングについて、引き続きインフレを中心とした「指標次第(data dependent)」というスタンスを維持するであろう。

マーケットデータ

Indicator	Unit	12月16日	12月17日	前日比	11月17日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	42,51	43,69	+1,18	44,71	-1,02
USD / BRL Spot	BRL	2,7387	2,7153	-0,0234	2,6089	+0,1064
USD / JPY Spot	JPY	116,41	118,65	+2,24	116,65	+2,00
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	47.008	48.714	+1.706	51.257	-2.543
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)	bps	240,9	215,7	-25,2	186,0	+29,7
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,80	12,79	-0,01	13,02	-0,23
DI Future Jan16 (金利先物)	%	12,92	12,92	+0,00	12,56	+0,36
3 Months US Dollar Libor	%	0,243	0,243	+0,000	0,232	+0,011
CRB Index (国際商品指数)	Index	238,8	239,9	+1,1	267,4	-27,5

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



リアル円スポットチャート

